

平成 29 年度プロジェクト研究実績報告書

【研究課題】	子供向けアントレプレナーシップ教育講座の開催
【研究代表者】	樋口大輔（東京情報大学・准教授）
【研究分担者】	

【研究報告及び成果の公表等】

1. プロジェクトの目的

近年、日本社会においても経営学においても、イノベーションの担い手として起業家の重要性が改めて認識されてきているものの、実社会におけるその浸透は不十分であるように見える。そこで、次の時代の担い手である中学生を対象とした起業塾「中学生のための起業体験講座」を千葉市および四街道市と共同開催し、若い世代のアントレプレナーシップを喚起するとともに、実践的な経営学教育を展開する。

2. プロジェクトの実施内容

前年度までの枠組みを踏襲しながら、千葉市および四街道市の中学生の参加者を迎えて実施された。今年度は、公募による参加者の募集が中心となったこともあり、複数の中学校からの参加があった。千葉市および四街道市の 12 中学校の生徒が参加し、3 チームでの実施となった。受講生：延べ 17 名（千城台西中学校、朝日ヶ丘中学校、千葉大学教育学部附属中学校、おゆみの南中学校、末広中学校、稲毛高等学校附属中学校、真砂中学校、渋谷教育学園幕張中学校、若松中学校、四街道中学校、四街道西中学校、千代田中学校）

スタッフ：延べ 15 名（情報大教員、情報大事務、情報大学生、千葉市、四街道市、外部講師）

・1 日目 10 月 8 日（日）

現役の経営者から会社経営の方法や商品開発に関するヒントを講演してもらった後、若葉区から区民まつりの説明が行われた。その後、チーム分けをして会社を作り、社長や経理などの役割を考えさせた。

時間	概要	講師等
	講演：「会社を運営するということ」	プラネットノア起業組合 横山武氏
	経営環境・事業環境を知る （区の特徴と区民まつりの説明）	若葉区地域振興課 若葉区民まつり担当
	社長や経理などの役割決定	

・2日目 10月15日（日）

資金獲得のため事業計画を作成し、投資機関役へプレゼンテーションを行わせ、事業資金を獲得させた。

時間	概要	講師等
午前	会社設立と事業計画の作成	千葉市産業振興財団 北野コーディネーター
午後	事業計画書の作成と資金調達	

・3日目 11月3日（金）

事業計画を再確認させた後、仕入れのための買い出しに向かったり、開店準備を行ったり、開業のための諸活動を行わせた。

時間	概要	講師等
	事業計画の再確認	
	仕入れ、準備	

・4日目 11月5日（日）

若葉区民まつりにて予定通り事業を実施した。区民まつりの終了後、帳簿をまとめ事業の清算を行って解散した。

時間	概要	講師等
午前	若葉区民まつりにて事業活動	公認会計士 平野達也氏
午後	帳簿完成と事業清算 終了、解散	

3. プロジェクトの成果

(1) 研究教育的側面の成果

すべてのプログラムを予定通りに実施でき、プロジェクトの目的としていた、中学生に起業および会社経営を体験させるという目的に沿った成果を挙げることができたと思う。受講生へのアンケートでも評価は良好であり、今年度も高い教育的成果を達成できたものと認識している。

(2) 行政施策的側面の成果

本プロジェクトは、前回より千葉市だけでなく四街道市も加わって実施されている。引き続き、自治体間のコラボレーションによる産業人材育成を目的とした事業として貢献ができているものと考えている。

以上